

ジャコウアゲハ、オニヤンマが千波湖に!!

～第6回千波湖環境学習会～

「千波湖周辺の昆虫を調べよう」をテーマに、今年度6回目の千波湖環境学習会を8月12日に開催しました。当日は、今年の猛暑がやや和らいだものの、蒸し暑さが残り、曇り空で雨が降りそうで降らない状況でのスタートとなりました。

講師の茨城県環境アドバイザー廣瀬誠先生から昆虫についての簡単なレクチャーと虫捕りに関する諸注意を受けた後、子どもたちは虫捕り網と、虫かごを手に持ち、少年の森へ出発！森の中は虫たちを必死に追いかける子どもたちで大変にぎやかになりました。

「先生～、この虫の名前は何かですか～？」

頑張って捕った虫をかごに入れ、子どもたちは廣瀬先生のもとへダッシュ！廣瀬先生は虫かごをのぞきながら、ていねいに虫の名前や特徴を子どもたちへレクチャー。子どもたちの真剣な表情や、面白い特徴を聞いたときの笑顔がとても印象的でした。

今回の学習会では、70匹以上の虫を見つけることができました。ショウリョウバッタは、精霊バッタと書き、旧盆のころに多く現れることからこの名前がついたそうです。オニヤンマを捕まえた時は、羽を指の腹でつまむのではなく、人差し指と中指の間で挟むと、指紋が付かずに綺麗な羽を観察できるそうです。

その他、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ、コシアキトンボ、ウスバカゲロウ、クルマバッタ、コクワガタ、クロコガネ、ナガサキアゲハ、アジアイトトンボなど様々な虫と出会うことができました。

「そんなにたくさんの虫たちがいるとは思わなかった！」

「たくさんの虫たちを捕まえることが出来て楽しかった！」

今回参加した子どもたちの感想です。蒸し暑さが残り、終始ジメジメした天気でしたが、それをものともせず、元気いっぱい走り回って昆虫を捕まえることができました。この夏休みの貴重な体験は、思い出の1ページとして綴られることでしょう。

最後に、今回の学習会に飲み物を提供していただいたライジングSUN様にお礼申し上げます。



廣瀬先生と捕った虫を確認する子どもたち



廣瀬先生の虫の説明に聞き入る子どもたち